

第 2 問

異なる文化に属する人々の移動や接触が活発になることは、より多様性のある豊かな文化を生む一方で、民族の対立や衝突に結びつくこともあった。民族の対立や共存に関する以下の 3 つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記しなさい。

問(1) 大陸に位置する中国では、古くからさまざまな文化をもつ人々間の交流がさかんであり、民族を固有のものとする意識は強くなかった。しかし、近代に入ると、中国でも日本や欧米列強との対抗を通じて民族意識が強まっていった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 漢の武帝の時代、中国の北辺の支配をめぐる激しい攻防を繰り返した騎馬遊牧民国家の前 3 世紀末頃の状況について、2 行以内で記しなさい。

(b) 清末には、漢民族自立の気運がおこる一方で、清朝の下にあったモンゴルやチベットでも独立の気運が高まった。辛亥革命前後のモンゴルとチベットの独立の動きについて、3 行以内で記しなさい。

問(2) 近代に入ると、西洋列強の進出によって、さまざまな形の植民地支配が広がった。その下では、多様な差別や搾取があり、それに対する抵抗があった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

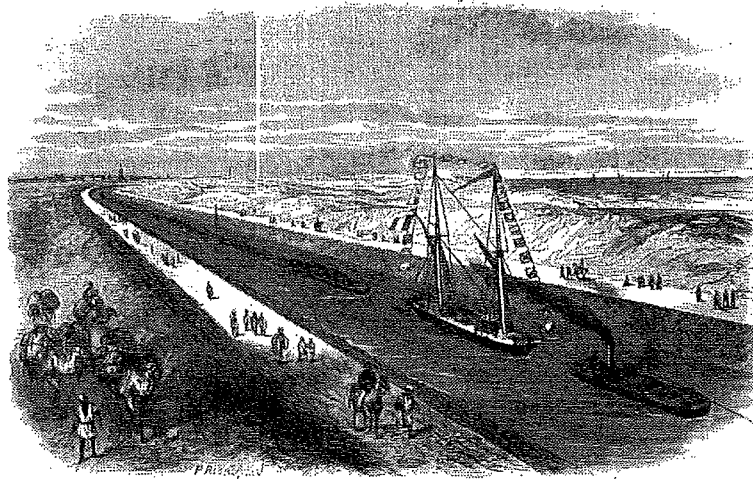


図 版

(a) 図版は、19世紀後半の世界の一体化を進める画期となった一大工事を描いたものである。その施設を含む地域は、1922年に王国として独立した。どこで何が造られたかを明らかにし、その完成から20年程の間のその地域に対するイギリスの関与とそれに対する反発とを、4行以内で記しなさい。

(b) オーストラリアは、ヨーロッパから最も遠く離れた植民地の一つであった。現在では多民族主義・多文化主義の国であるが、1970年代までは白人中心主義がとられてきた。ヨーロッパ人の入植の経緯と白人中心主義が形成された過程とを、2行以内で記しなさい。

問(3) 移民の国と言われるアメリカ合衆国では、移民社会特有の文化や社会的多様性が生まれたが、同時に、移民はしばしば排斥の対象ともなった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 第一次世界大戦後、1920年代のアメリカ合衆国では、移民や黒人に対する排斥運動が活発化した。これらの運動やそれに関わる政策の概要を、3行以内で記しなさい。

(b) アメリカ合衆国は、戦争による領土の拡大や併合によっても多様な住民を抱えることになった。このうち、1846年に開始された戦争の名、およびその戦争の経緯について、2行以内で記しなさい。